

# 「非膵癌患者と膵癌患者の悪性遠位胆管閉塞における金属ステント留置後膵炎の発症率を検証する単施設後向き試験」について

## 1. 研究の対象

2018年4月～2024年3月までに手術を予定しない悪性疾患による遠位胆管閉塞で金属ステントを留置された患者さん

## 2. 研究目的・方法

非切除悪性遠位胆管閉塞ではステント開存期間を考慮して経乳頭的金属ステントを留置することがありますが、術後に膵炎という合併症を生じることがあります。特に膵癌ではない患者さんでは膵機能が保たれている事が多く、膵癌患者さんと比較して膵炎発症が多い可能性があります。ただし、明確な根拠は示されていないため、今回検証を行う事としました。電子カルテから過去の必要な情報を個人が特定できないように収集し、解析を行います。

研究実施期間は、病院長の実施許可日から2026年3月31日までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景：性別、年齢、病名、ERCP歴、ERCP後膵炎歴、胆管炎の有無と重症度など  
臨床情報：用いたステントの種類、乳頭切開術の有無、座薬使用の有無、膵管ステント留置の有無など

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000

磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一